

事業所名 重心児童デイ からふる・ぶらんしゅ (児童発達支援)

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024 年

12 月

28 日

法人 (事業所) 理念		どんなに重い障がいがあっても地元で豊かな人生を送れるよう多彩な選択肢を提供する。 ↳ 「からふる」の由来						
支援方針		①能動的活動：重い障害があっても五感を使って主体的・能動的に体験することを大切に活動 ②役割活動：卒業後に社会の一員として生きていくために、できること・得意なことを活かせる力を育む ③リハビリテーション：PT・OT・STの個別リハビリだけでなく、職員全員が生活につながるリハビリテーションを提供し、子どもの成長や発達を促す ➔ICF概念に基づき、障がいをマイナス面だけでなくプラス面からも捉え、相互関連を考慮した支援を行う						
営業時間		9 時	30 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	【生命の安定と健康状態の維持を基盤とした支援】《最重要》 ○丁寧な医療的ケア実施し、健康状態の安定や異常の早期発見に努めます。 ○身体機能の評価を行い、快適に日常生活が送れるよう呼吸や姿勢の安定を図るとともに、身体機能の維持・向上を目指します。 ○摂食機能・口腔機能の評価を行い、食べる機能の維持・向上を目指します。また経管栄養の子どもたちにも安全に味見ができる可能性を検討します。 ○毎日の手洗いや口腔ケアのなど衛生面の配慮を行い、感染症の予防に努めます。				当事業所の児童発達支援では、本人支援を  「健康・身体・運動」 「生活習慣(食事・排泄など)」 「遊び・コミュニケーション」 「その他」  の4つのカテゴリーに分類し、それぞれ5領域との関わりを考えながら、子どもたちの発達全体を支援していくことを大切にしています。		
	運動・感覚	【能動的な感覚運動経験を提供する支援】 ○健康状態の安定を図り、様々な感覚を心地よく受け止められる遊びを工夫します。 ○姿勢保持や動くことが難しい子どもたちが自ら動いたり操作する楽しさを体験できるようサポートをします。 ○道具や機器の工夫により様々な感覚運動経験を提供します。						
	認知・行動	【子どもたちの持つ力を引き出し、理解の力を高める支援】 ○遊びの中で「楽しい」「もっとやりたい」という気持ちや意欲を育てます。 ○長いスパンで繰り返し遊びや動作を行うことで、子どもたちの理解を促し、「自分でできた」という達成感を得られるよう支援します。 ○障がいの程度や理解度に応じて食事や着替え、排泄などの日常生活動作を獲得できるよう支援します。						
	言語 コミュニケーション	【伝わる楽しさを感じ、自ら伝えようとする気持ちを引き出す支援】 ○表情や緊張状態など子どもたちが発するサインを的確に受け止め、やりとりしながら支援を行います。 ○模倣ややりとり遊びなどを通じて他者の存在に気づき、やりとりして楽しめる力を促します。 ○発声や表出言語だけでなく、サインやカードを使ってより自分の気持ちが表出できるよう支援します。						
	人間関係 社会性	【支援を受けながら社会で生きていくための関係づくり】 ○周りの人と交流をしながら、1対1の関係から関係を広げていけるよう支援します。 ○人が嫌がることに気づき、相手の思いも受け入れながらルールを守って生活できるよう支援します。						
家族支援		○子育てに関する不安に寄り添い、将来の見通しが持ちやすくなるようサポートします。 ○家族のレスパイトやきょうだいの同じように育つ環境の提供に努めます。 ○保護者の就労保障に努めます。		移行支援		○行政や移行先(保育園など)に障がいや医療的ケアに対する理解を促すとともに、受け入れに対する不安の解消に努めます。 ○必要に応じて保育園等に職員が訪問したり、保育園の先生方の見学を受け入れるなどの連携を図ります。		
地域支援・地域連携		○地域の子どもたちや同年齢の集団と関わる機会を提供します。 ○地域に出かけることで、子どもたちの存在を地域の方に知ってもらう機会を提供します。		職員の質の向上		○障がい児通所支援の変遷や福祉サービスなどの研修 ○発達や障がい特性についての研修 ○医療的ケアの研修 ○外部研修の受講促進 ○資格取得の促進		
主な行事等		○季節ごとの遊び ○放課後デイとの合同の遊び						